

「高い志を持ち

常に努力精進を

学学
院
長長
小
出
忠
孝

平成21年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の蛍雪の功成り、学位記を手にする事が起きた喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていると思います。

「学院大卒の誇り」

新しい人生の門出にあたり
諸君に先ず学院大卒業の誇り
を持って頂きたい。諸君が学
んだ愛知学院は創立133周
年を迎える、中部で最も古い
歴史と伝統を持つ学園であり
大学は8学部17学科、大学院
8研究科に学生1万2千名を
擁する私立の総合大学です。
さらに本学では常に時代の二

ーズに積極的に対応し、中部の主要大学の一つになっている



「緩やかな景気回復」
諸君が明日から門出する社

諸君はこの様な名門愛知学院大学で、多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、また多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努めることが出来ました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている11万余の先輩がいます。すべて本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで、誇り高く育った学院大卒業生です。この建学の精神は開祖道元禪師の教えであり、人間として正しく生きていく上で、最も大切な基本的精神です。諸君は一生この建学の精神を座右の銘として堅持し、社会で活躍させる事を希望します。

会は、21世紀10年目を迎える。すべての面で新しい希望に満ちた時代の訪れが期待されていきました。しかし現実の世界ではハイチの大地震、チリの大洪水等各地に大天災が頻発し人類に大きな驚異を与え、またアフガン、パレスチナ等各地における宗教・民族・経済に根ざした紛争や対立が国際平和を脅かし、さらに地球環境、食糧、人口、難民など地球規模の問題も深刻化しています。

さらに一昨年金融危機により世界的景気不況が発生しましたが、各国協調による金融政策により景気後退は沈静化し、その後上昇に転じつつあります。米政府が発表した2

09年10、12月期の米国の実質GDPは、2期連続のプラス成長を記録、米国の景気回復傾向を鮮明にしましたが今後の回復は当面「緩やかに」と、先行きは楽観視出来ないとしています。わが国でも政府は昨年10、12期の実質GDPが年率換算で4・6%増と、3四半期連続のプラス成長を発表し、不況下でも景気は徐々に上向いているが雇用・所得環境は未だ厳しく自律的な景気回復にはなお時間がかかりそうだとしています。

就職支援推進プログラム
推進委員長として小

近年学生の就職状況は極めて厳しく、就職や将来の進路に悩みを持つ学生の増加に対応し、文科省では昨年特別予算を、更に今春追加予算を計上し就職支援強化を積極的の実施しているが、その就職支援推進委員長を務める小出学長の責任は大きく、今後の更なる活躍が期待されている。

「厳しい学生の就職」

一方世界的な景気後退で、国内の生産活動の低下、雇用状況の悪化が続き、完全失業率の上昇、有効求人倍率の低下等、雇用への悪影響が広がっています。厚労省の発表によると昨年の有効求人倍率は0・47倍と過去最低であり、かつての就職氷河期並みの厳しさとなっています。そのため県内大学生の就職内定率は前年比13%減と大変厳しい雇用状況が続いていますが、本学の場合は全学あげての就職活動に対する努力により、84%と平均を大きく上回る状況となっています。しかし今後雇用関係の低迷は続くと考えする必要があります。このような状況のなか見事就職を

せん。しかし、わが国は世界に誇る高い技術力、勤勉な国民性などの強みを持っておりこの日本人の力を活用し活力ある日本を再び創りあげねばなりません。それを実行できるのは21世紀の日本を背負って立つ若い諸君達です。特に将来、社会の中堅リーダーとして活躍する大学卒業の諸君達です。日本の将来を創るのは自分であるという志を持ち、社会の変化に適確に対応し、常に努力精進する事が重要であり、自分の力を信じ積極的に行動される事を期待するものです。

「生物多様性の保全」

今秋名古屋では生物多様性条約締約国会議COP10が開

「生物多様性の保全」

今秋名古屋では生物多様性条約締約国会議COP10が開催されます。現在175万種といわれる地球上の生物が、互いにつながり共生していますが、例のない早さで種の減少・絶滅が進んでおり、その原因は私たち人間にあると理解するのが大切です。生物多様性の保全や自然との共生をはじめとした持続可能な社会を目指す、美しい地球を守るための会議です。この記念すべき年に大学を卒業する諸君は、この主旨をよく理解し生涯を送られる事を希望します。最後に諸君の将来は安易な道ばかりではなく、厳しいものがあると覚悟しなければなりません。長い人生で順調な時も決して奢ることなく、また逆に不遇の時にも決して挫ける事なく、常に全力をあげて努力される事を切望します。

「大きな人」となれ!!



大学後援会会長
湯澤信雄



愛知学院大学
同窓会連絡協議会議長
法学部同窓会長

卒業を祝して

多くの懐かしい思い出を胸に愛知学院大学を卒業し社会へ巣立つ皆さんと、学生生活を支え励ましてこられたご家族の皆様、に、大学全同窓会を代表して心からお祝いを申し上げます。

ともに、ご父母の皆様には後援会活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆様は、サブプライムローン問題に端を発し、ドバイショック、トヨタショックと続く世界的な大恐慌の最中に卒業され、就職活動では大変苦労されたと思います。政界においても民主党による政権交代がなされましたが、政治と金の問題、基地問題などでまだまだ揺れ動いております。このような大変な時に皆さんは、社会へと旅立つわけです。不安もいっぱいあるでしょう。しかし社会というものは、常に変化し動いているものなのです。現在よりもっと混沌とした社会が来るかもしれませんし、皆さんの活躍によって素晴らしい社会が来るかもしれません。立ち止まらないで一歩ずつ先に進んでください。皆さんの中には、愛知学院大学在学中には、

卒業は終りではありません。次へのスタート台です。「生涯学習」の気持ちを忘れず、これからも自己を啓発し、自らの力で人生を切り開いていくってください。

あなたがこの愛知学院大学に学ばれたことは、本当に良い出会いであったと思います。なぜなら、「ここ」にも目を向けさせてくれたことです。「モノ・カネ」がすべてではないことは、世界中が百年に一度という混沌とした今、現実のものとして体験できます。激しい世の移り変わりは社会に出るあなたたちに容赦なく襲いかかります。それは一昨年の秋、突然やってきた就職と雇用の現実がそのことを実感させてくれました。

大学での毎日を思い起こし

学の中に建学の精神である「行
 学一体・報恩感謝」の理念を
 礎に、学問ばかりでなくな
 にか体得したものがあはす
 す。その「なにか」をもつ
 もつとこれからの社会生活
 の中で育て大きくして、家
 族や周りにいる人々、そし
 て社会にとつて有能な大き
 な人になつてください。経
 済も政治もはたまた学問も、この世の中
 のことはすべて「人」が行
 っています。最初は一人で始
 まり、それが二人となり三人
 となり、だんだん大きな輪
 となつていくのです。大きな輪
 の中心には必ず有能な大きな
 人がいます。「輪」は「和」
 にも繋がっています。卒業生
 の皆さんには、是非この「輪」
 「和」の中心となる人になつ
 ていただきたいと思ひます。
 不安はいっぱいあるでしょう
 が、大きな人となる第一歩を
 踏み出してください。
 最後にもう一度、卒業おめ
 でとございます。

卒業生へ贈る言葉(平成21年度)

「原点」を見つめて
学び続けてください。経営学部部長
内藤 勲

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。
4年間の大学での学びを終えて、皆さんは社会へと巣立って行かれます。小学校以来15年間の学びの期間は、未来へ向かう皆さんの可能性を蓄える期間でした。そして今、社会へ巣立つことで、皆さん

は蓄えた可能性の一つを現実のものとして花開かせようとしています。
今冬はオリンピックの華やいたニュースと並んで、トヨタ自動車のリコール問題で厳しいニュースも報道されています。この問題で、アメリカ議会公聴会に呼ばれた豊田社長は肥大化しすぎた組織の非を認めると同時に、自社技術への信頼を語り、「原点」に変えることを宣言していました。どのような大企業であれ、優良企業であれ、問題に対して適切に対処し、そこから学んでいく必要があります。それは人生も同じです。自分の

能力を信じながら、常に原点を見つめつつ、目の前にある問題への対処から学び続けなければなりません。
皆さんが学んできた4年間の大学生活は、単に専門知識を得ただけの期間ではなく、生きるための原点を身につけた学ばれたい期間でもあったと思います。生きることは、学ぶことです。今や人生80年、皆さんにはまだまだ長い学びの道が続いています。愛知学院大学経営学部で4年間の学びの期間を礎に、前途洋々たる未来に向かって羽ばたいて欲しいと思います。

熟慮断行！

商学部部長
尾崎 眞

大学生活を終了し社会に巣立られる卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。
社会情勢は先行き不透明で、明るいといえないのが現状です。ご存知のように、日本のみならず、多くの国々にはかなり厳しい大不況の中にあります。また揺らぐことが無いと信じられていた巨大な複数の

企業が倒産の危機に陥るといふ、これまでにない、信じられない状況です。
厳しい状況下、企業は何とか好況へ向かうべき成長戦略を模索しています。しかし、このしばらくは景気低迷の道を歩むことになるかと予測しなければなりません。
このような時期に巣立つのですが、皆さんは愛知学院大学で多くの専門知識を学び幅広い教養を身につけたらと思っています。これら学んだことを役立てば厳しい状況下でも怖くはありません。さらに、商学部では愛知学院大学の建学の精神「行学一

体・報恩感謝」のもと、「ビジネス・ヒューマン・バリユ」という理念により教育をしてきました。困難に遭遇した時はこの理念を思い出してください。役立つ答えが浮かんでくるでしょう。
また、ゼミナール、クラブ、サークル活動等にて、友人と出会い、多くのことを修得し、人間的にも成長され、日常生活の問題解決能力を身につけたものと推察しています。
皆さんはこれから社会の一員として活躍されますが、どうか明るい気持ちで、十分に考え、思い切った実行すること(熟慮断行)を期待します。

目標を立て、
緻密に努力する文学部長
黒田安雄

大学を卒業し、社会に旅立つ皆さん、卒業おめでとうございます。新しい門出を心から祝福します。
大学生活が満足であったか否かの感慨は様々であろうと思いますが、皆さんは社会で適切な判断と意思決定ができるように、多くの基本的な考

え方を学ばれたことと思います。大学で学び体験したことは貴重なものですが、それを社会でどのように活用し、どのように活かすかは皆さん自身です。自分の力量と責任で問題を解決するためにも、新たな考えを謙虚に学び、常に目標に向って努力を継続する心構えを忘れないようにしたいものです。
今から半世紀前、日本は軍事・外交面で米国の傘を借りながら経済発展に集中し、その後世界が驚く速さで成長の階段を駆け上がりました。しかし今、市場主義とグローバルゼーションという世界の大潮

潮流のなかで、日本は伝統を踏まえた新たな国家像の構築と様々な社会制度の見直しを迫られています。
これから社会の担い手となる皆さんには、さらなる創造性や行動力が求められているわけですが、幸い私たちは試練があっても貫きたい志や、他人の痛みを放つてはおけない人情を持ち合わせています。相互の立場を尊重し、理解し合って、いかに協調し共生したらよいか、長い人生のうちには挫折や失敗もあるでしょうが、皆さんが有為な社会人として活躍して下さることを心から祈っています。

「自信を持とう」

心身科学部長
佐藤祐造

平成21年度の卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。
心身科学部は昭和45年に開設されました文学部心理学科を平成15年4月に心身科学部心理学科に改組し発足しました。

平成16年4月には、厚生労働省の推進する「健康日本21」に関連し、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病およびその予備群を中心とした半健康な状態の人に対し、より高い健康度、活動能力とQOLの向上を目指す健康づくりを指導できる人材育成を目指し、健康科学科が発足しました。
したがって、健康科学科の皆様は第3期の卒業生ということになります。

平成20年4月には、「健康日本21」に栄養面から生活習慣の指導をしたり、医療現場で活躍できる栄養士・管理栄養士養成を目指す健康栄養学科が設置されました。
皆様はご卒業後、一般企業や行政、教員などに就職されたり、大学院への進学等、様々な進路に進まれます。
4月から就職された新しい職場では、対人関係をはじめ多くの「カルチャーショック」を受け、軽いうつ状態になる方も少なくないと思います。
私は4年間、健康科学科の学生さんに講義やゼミを行って来ました。皆様優秀な方ばかりで、自信を持って良いと思います。自分が苦しい時には、他人も苦しいと思います。がんばりましょう。
皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

問題発見・分析・解決力を
発揮して総合政策学部部長
二宮克美

平成21年度卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、「総合政策学部」最初の卒業生となります。これから学生時代と違い、厳しい社会に出て行くことになります。
大学の4年間、みなさんは何を学んだのでしょうか。専攻した学問の知識のみならず、

職業生活でも社会生活でも必要な技能(スキル)を身につけたでしょうか。コミュニケーション能力、情報リテラシー、問題解決力も修得されたでしょうか。また自己管理能力、チーム・ワークをはじめリーダーシップを発揮する力、社会的責任感、生涯学習力も身につけたでしょうか。
まだまだ十分とは言えないかもしれませんが、これらは「学士力」と呼ばれているものなのです。

総合政策学部の教育目標は、「問題を見出し、分析し、解決する力」を育成することにあります。政策・企画を立案し提言できる人材を育成するという理念を掲げ、みなさんの教育にあたってきました。これからみなさんが社会に出て、いよいよその力が試されることとなります。先にあげた学士力の基礎は、身につけていると確信しています。どうぞ自信をもって、社会に羽ばたいて行ってください。
みなさんが社会に出て困ったとき、母校である愛知学院大学に来てください。先生方は喜んでみなさんを受け入れてくれるでしょう。どうぞ元気なで、それぞれの場で活躍されることを祈念しています。

法学の考え方、
見方を生かして法学部長
高木敬一

皆さん卒業おめでとうございます。
皆さんは、法学部での4年間の勉学で、法学について様々な知識を身につけたことと思います。勿論、その知識は社会で生活するうえで大いに役立つはずです。しかし、それらの知識は、法律や

社会状況が変わって意味を失うこともあるでしょうし、それまでなかった事件や問題の解決に直接には役に立たないこともあるかもしれません。そのようなときでも、法学部で法学をシステム化して学んだ皆さんならば、これまで学んだことから類推して適切な解決にたどりつけるでしょうし、少し調べるだけで新しい状況を容易に理解できるようなはずなのです。それは、皆さんが法学の基本的な物の考え方、物の見方を身につけたからにはかならずあります。

法は原理、原則を重んじます。原理、原則とは究極的には、正義、公平といふいい言葉でもありません。法を学んだ者は誰でも、正義や公平に反することを見過ごしにできません。他方で、法は様々な主張を公平に考慮した上で、社会の状況に応じて最も妥当な解決を探っていくという柔軟性も持っています。法律の解釈とはそのような論理作業にほかなりません。こういった法学の考え方、見方を、皆さんは確かに自分のものにしておられるはずです。
皆さんが法学部で学んだことを糧として、社会で活躍されることを期待しています。

名誉教授称号授与

本学教授会は、平成22年3月31日付で退職される、加藤勇夫商学部客員教授、黒田喜重法務研究科客員教授、中谷光隆法学部客員教授、若原茂法学部客員教授に名誉教授の称号授与を決定した。

昭和35年本学商学部卒業、41年本学大学院商学研究科修士課程修了、44年博士課程単位修得満期退学。
昭和35年4月から商学部副手、37年助手、44年講師、47年助教授、54年商学部教授、58年大学院商学研究科教授。在任中は商学部長、流通科学研究所長、産業研究所長、平成12年より教務部長と、各要職を歴任。平成20年より愛知学院大学客員教授、愛知学院大学学長付顧問、教務部顧問。また、平成元年から学校法人愛知学院評議員。研究面においては、独創的なマーケティング・コンセプト論やマーケティング・アプローチ論を中心とした優れた理論を展開し、商学博士の学位を取得。その後もマーケティングを中心に研究を継続し、学会において優秀著作賞を受賞。こうした研究を基本に教育にも熱心に対応され、多くの学生、卒業生からも高い信頼と評価を受けている。また、愛知県をはじめ、各地の街づくり、商業振興の委員長、講演、ラジオ出演など、多岐に活躍し、社会に大きく貢献している。



商学部客員教授
加藤 勇夫

昭和36年早稲田大学第一法学部卒業、40年早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。昭和40年4月から法学部助手、43年講師、46年助教授、53年法学部教授、58年大学院法学研究科教授。在任中は法学部長、法学研究科長、宗教法制度研究所所長、栄サテライトセンター初代所長と、各要職を歴任。
研究面においては、民法のうち取り分け債権法の分野で数多くの業績を残された。また、中でも日本土地法学会においては現在も中部支部長を務められ、同学会の中心メンバーとしても活躍。
学校行政の面においては、法学研究科長として、税理士養成制度の改革への対応を契機に、税理士養成の教育スタッフの確保、教育体制の整備に努められ、本学法学研究科が中部地区有数の税理士養成機関と評価されたのも先生の尽力によるところが大きい。



法務研究科客員教授
黒田 喜重

昭和43年早稲田大学大学院法学研究科民法専攻修士課程単位取得満期退学。
徳山大学経済学部講師、次いで中部大学商学部助教授として奉職後、昭和57年4月に本学法学部助教授、60年法学部教授、平成2年大学院法学研究科教授。
研究面においては、商法のうち取り分け有価証券法で、多くの優れた業績を発表され、本学法学部の商法学の研究レベル向上に多大な貢献をされた。
教育面においては、懇切丁寧な指導で、受講生に高い評価を得てきた。それは何より常に授業内容の充実を努めるとともに、現在の学生がどのようなことに興味があるのかを知るために、時には若者向けの雑誌などに目を通すなど、地道な努力を積み重ねた賜物である。先生ご担当の講義はいずれも常に300人以上の受講生があり、法学部の人気の授業の一つに数えられている。



法学部客員教授
中谷 光隆

昭和36年本学法学部第1期生として卒業後、38年早稲田大学法学研究科修士課程修了。
昭和42年本学法学部助手、47年講師、52年助教授、58年法学部教授、63年大学院法学研究科教授。本学の建学の精神を踏まえ、全国の法学部に先駆けて宗教法を正規科目として設定し、その担当者として研究・教育に従事された。
研究面においては、宗教法の分野で、今日まで我が国の学界をリードしてこられ、宗教法学会理事長も務められた。宗教法学会とその業績は我が国の宗教法研究の基礎となっており、また法学部に設置されている宗教法研究所の中核メンバーとして、幹事、所長として長年にわたり活動を支えられ、宗教法研究所が行った調査・研究は若原教授なくしてはし得なかったといっても過言ではない。
学内行政においても、大学院法学研究科主任、法学部長を歴任され、学外でも名古屋弁護士会副会長の要職を8年にわたり務められた。



法学部客員教授
若原 茂

卒業生へ贈る言葉

(平成21年度)

「国民の健康に貢献する 歯科医をめざして」



歯学部長
野口 俊英

歯学部第44回の卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。人生にはその人にとって大きな分岐点がいくつかあると思いますが、大学を卒業するということもきわめて重要な節目だと思います。もちろん国家試験というもう一つの

のハードルがありますが、皆さんが6年間の成果を充分に発揮すれば必ずや合格することでしょう。歯学部を卒業して一年間の研修医を終了した後はいろいろな進路があると思いますが、多くの人は国民の口腔の健康を維持するための歯科医になることだと思います。

我々歯科医は口腔という人間の基本的営みである物を食べる、会話をするという機能の向上と維持に關与するばかりでなく、国民一人一人の全身の健康の増進にも貢献することになるのです。
皆さんの歯科医としての人生はこれからスタートするわけですが、それを輝かしいものにするため、これまでと同様、大いなる情熱と向上心をもって歩むことを希望しまして私の御祝いの言葉とさせていただきます。

「歯科衛生学科二回生の皆さん、卒業おめでとう」



歯科衛生学科長
向井 正視

歯科衛生学科2回生の皆さん、ご卒業を心からお祝い申し上げます。卒業を心からお祝い申し上げます。

皆さんが学んで学んだことは口腔保健衛生、歯科医療に関する基本的な事柄ばかりです。そして、最終学年における臨床(臨地)実習では大学で学んだ口腔や歯科に関する実践的な実習のみではなく、大学とは異なる環境での様々な出来事に直面し、文字通りのインターシップを乗り越えて卒業を迎えられたことに、あらためて敬意と祝意を表したいと思います。

卒業後も大学で身につけた専門分野の知識や技能をさらに向上させ、幅広い分野に興味をもち、感性を磨き、そしてより豊かな人間性をもった素晴らしい女性となるように努力を続けて下さい。皆さんはきっとそれに応えることができます。そして誰からも愛され、頼られる歯科衛生士をめざして下さい。
皆さんの未来が素晴らしいものであることを心より祈ります。

21年度

学位記授与式表彰者

学位記授与式で送られる各受賞者は次のとおり。

【管長賞】	
宗教学科	垂水まなみ
歴史学科	竹井 沙織
国際文化学科	清水 智
日本文化学科	木村 信一
商学科	柿元 美幸
産業情報学科	沖田 梨紗
経営学科	松田 和哉
国際経営学科	吳 学江
法律学科	貫洞 有加
現代社会法学科	安江 智紀
総合政策学科	山村 智代
心理学科	中河内涼太
健康科学学科	青木 和哉
歯学部	伊藤友倫子
歯科衛生学科	佐藤 恵子
【初代学長小出有三賞】	
宗教学科	米窪麻理南
歴史学科	森 麻梨子
国際文化学科	山下 詩織
日本文化学科	平田めぐみ
商学科	毛利翔太郎
産業情報学科	大野 有紀
経営学科	高 静
国際経営学科	羽木 美幸
法律学科	川上 佳恵
現代社会法学科	橋本紗里亜
総合政策学科	中村あずさ
心理学科	加藤 理紗
【学長賞】	
健康科学学科	重村明日美
歯学部	外堀 恵
宗教学科	諸岡久美子
歴史学科	玉置 智
国際文化学科	森 みか
日本文化学科	蛭田 知広
商学科	関根昭一郎
産業情報学科	田中 真一
経営学科	山田 一登
国際経営学科	榎本 秀明
法律学科	全 香姫
現代社会法学科	平野 貴志
総合政策学科	村上 敦
心理学科	川口 智弘
健康科学学科	衛藤 優子
歯学部	伊藤江里菜
歯科衛生学科	赤祖父 緑
専攻科	村上 佳子
歯学部臨床実習優秀賞	山田美沙樹
歯学部臨床実習優秀賞	田口 莉沙
歯学部臨床実習優秀賞	佐久間 愛
歯学部臨床実習優秀賞	源 弘高
歯学部臨床実習優秀賞	天池 裕也
歯学部臨床実習優秀賞	浅野 千明
歯学部臨床実習優秀賞	小川 裕衣
歯学部臨床実習優秀賞	中里 舞

本学より 3氏に博士号授与



博士(文学)
リン・イェンリン
林彦伶氏

林彦伶氏は、昭和44年生。平成7年東京大学外国語文学部日本語文学専攻卒業後、同大学外国語文学部日本語文学専攻修士課程修了、平成19年本学大学院文学研究科日本文化専攻博士後期課程入学(現在在学中)。

博士論文は、『接続節「て」中の用言と中国語加訳の研究』で、用例の数量分析を通して、接続節「て」の中の用言の意味と中国語訳で見られる翻訳技法の使用状況を全般的に考察し、中国語訳で見られる言葉の加訳などの翻訳技法の使用は、接続節「て」中の用言の意味分野と深くかかわっていることを明らかにした。さらに、中国語訳で行われる翻訳技法によって、接続節「て」中の用言の出現率が異なるという特徴も明らかにした。



博士(文学)
リョウ・シュウコウ
廖秋紅氏

廖秋紅氏は、昭和46年生。台湾・淡江大学日本語文学部文学専攻卒業後日本に留学。平成10年岡山大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程前期課程修了、平成19年本学大学院文学研究科日本文化専攻博士後期課程入学(現在在学中)。

博士論文は、『複合動詞の研究—日中複合動詞を中心に—』で、主査である本学田島誠堂教授が比較語彙論の方法として提唱した意味分野別構造分析法を適用し、単に文法形式での分類に留まらず、意味を考へることにより、それぞれ一定の意味分野の語が結びつくことを示し、また、ある意味分野の語は結びつかないことを明らかにした。意味を分析の観点に据えることにより、複合動詞の構造を明らかにする手掛かりを得たことは高く評価される。



博士(経営学)
ロビーナ・ヤスミン氏

ロビーナ・ヤスミン氏は、昭和43年生。パキスタン・パンジャム大学卒業後、名古屋大学大学院国際開発研究科修士課程修了、平成20年本学大学院経営学研究科経営学専攻博士後期課程単位修得満期退学。

博士論文は、『パキスタンという経営環境下でのHRMシステムと企業業績についての実証的分析—統合的アプローチ—』で、修士論文を基礎にしながら、戦略的資源管理システムがパキスタンという経営環境下で、従業員の満足度および企業業績にどのような影響を与えるかを検討したものである。測定尺度は質問紙調査法を用い実施されている。本論文はパキスタンという治安の不安定な地区で多くの人に協力を得ながら調査を実施しデータ収集したことは評価に値し、また戦略的資源管理および組織行動科学の領域に新たな知見を与えるものとして高く評価されている。

留学生別科 スピーチ・コンテスト

平成21年12月22日、学院会館ホールにおいて、第8回留学生スピーチ・コンテストが行なわれ、J2クラス12名、J1クラス15名の合わせて27名の個性あふれるスピーチが行われた。

スピーチ内容は日本での留学生生活や日本語学習の大変さ、自分を支えてくれた人々への感謝の気持ち、将来へ向けての決心、人生をどう生きるかなど、別科生一人ひとりの心が素直に反映されていて、深く聴衆の心を打つものがあった。

学長賞に高瀬さん、別科長賞にハスオロドンさん、長久手町国際交流協会会長賞に王友天さんが選ばれた。



方々、日頃から交流のある長久手町国際交流協会日本語教室や地域の方々、そして本学の先生方が来場し、終始暖かな雰囲気の中スピーチ・コンテストとなった。

文学部 劉作勝 外国人教師 第一回羅振玉書学研究国際学会で優秀論文賞受賞



上野理一が内藤湖南を通して、1911年辛亥革命で日本に亡命した清末の考古学者、羅振玉から譲渡された拓本で、一般に「上野本」と称されている。この二作の渡来は日本書道界に大きな影響をもたらしてきた。

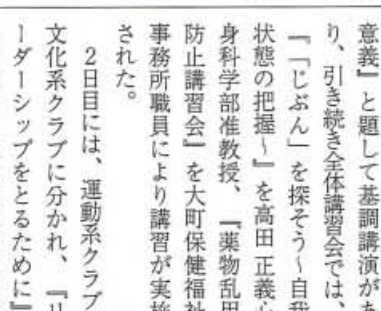
平成21年12月23日から26日、中国大連市で開催された第一回羅振玉書学研究国際学会において、劉作勝文学部日本文化学科外国人教師が優秀論文賞を受賞した。

論文テーマは『王羲之法帖東渡と羅振玉—「唐拓十七帖」—』で、京都国立博物館には書聖王羲之(おうぎし)の名品「唐拓十七帖」、宋拓大聖唐聖序」を所蔵している。この二作は朝日新聞の創始者

戦略的連携支援プログラム キックオフ・ミーティング開催

平成21年度文部科学省採択事業、大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム「成長型ICT教材を用いた医歯薬看護系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」のキックオフ・ミーティングが、平成22年2月13日(土)、午後1時より日進キャンパス学院会館において開催され、佐々木雄太・愛知県立大学学長、稲福繁・愛知医科大学学長、小出忠孝・愛知学院大学学長の3大学の学長出席のもと開催された。

当日は、愛知医科大学理事、外部評価委員の先生、3大学の関係者の方々も出席し、会の冒頭に取組担当の佐藤祐造心身科学部長より取組内容の説明の後、小出学長をはじめ3大学の学長より挨拶があった。



本連携プログラムは生活習慣病の予防教育のため連携3大学の医療を中心とした各学部が集まり、教員の交流、学生の交流、講義の交流などを通して生活習慣病予防の教育教材を作り上げるとともに、生活習慣病予防実践事業(名古屋健康カレッジ)を実施していく取組で、3大学の学長からも今までになかった取組であり、本事業の成果に期待したいと、この事業に対し大きな期待を語られていた。

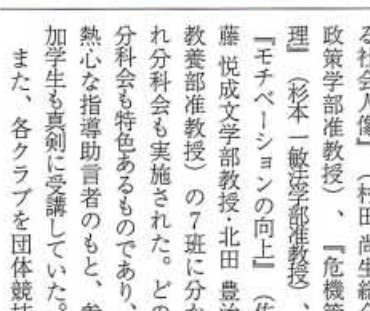
平成21年度「開放講座」修了式

本学では生涯学習の一環として、一般の授業を開放して社会人聴講生を受け入れ、学生と一緒に学ぶ社会人聴講制度を平成8年度より始め今年度で14回目。

平成21年度(春・秋学期)の開講科目数は合計385科目となり、聴講生からは多種多様なジャンルから受講科目を選べることで好評を得ている。今年度の受講者数は延べ人数で1565名。

平成22年1月18日(月)、けやきテラス3階ホールにて「第14回開放講座修了式」が開催され、社会人聴講生約130名が参加し、大学側からは小出忠孝学長、竹市良成教務部長らが出席。小出学長から聴講生を代表して今尾信行氏に修了証が授与された。続いて小出学長挨拶、学部長を代表して内藤勲経営学部長の挨拶の後、今尾信行氏から聴講生を代表して大学側に謝辞が述べられた。

その後、「学校事始め」と題し、竹市教務部長による講演会が開かれ、修了式は盛況裡に終了した。



2月15日・18日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブのリーダーを対象とした「第42回リーダーシップ・トレーニング」が、運動部44名・文化部41名の学生85名、指導助言者の教職員15名、合計100名の参加により開催された。

開講式で黒神聡学生部長から「本学における課外活動の意義」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「じぶん」を探そう、自我状態の把握」を高田正義心身科学部准教授、「薬物乱用防止講習会」を大町保健福祉事務所職員により講習が実施された。

2日目は、運動系クラブ・文化系クラブに分かれ、「リーダーシップをとるために」を内藤正和心身科学部助教、「健康管理の必要性」を北田豊治教養部准教授により講習が実施された。また、「筋力トレーニングとパフォーマンス」(増田雅彦教養部准教授、「アスレチックトレーニング実技」(高田正義心身科学部准教授、内藤正和心身科学部助教、教授内藤正和心身科学部助教、「クラブの企画運営」(平賀正剛経営学部准教授)、「クラブの組織管理」(伊藤徳正商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授)、「危機管理」(杉本一敏法学部准教授)、「モチベーションの向上」(佐藤悦成文学部教授、北田豊治教養部准教授)の7班に分かれ分科会も実施された。どの分科会も特色あるものであり、熱心な指導助言者のもと、参加学生も真剣に受講していた。

また、各クラブを団体競技



「第42回リーダーシップ・トレーニング」 大町セミナーハウスで2泊3日開催

系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音楽系、公演・資格取得系の7分野に分けた「系統別懇談会」では、学生自身による議事進行で、全グループ共通の討議テーマである「クラブ内の人間関係について」の意見交換がなされた。その他にも、「同系クラブがもっている運営上の問題点・解決策」など、幅広い範囲の話題についての意見交換もなされた。

夜に行われた「懇親会」では、運動部・文化部の垣根を越え、情報交換・交流がなされた。全クラブが一体となり、本学課外活動の活性化を誓い合っていた。

最終日の閉講式では、各系統別懇談会の代表学生による懇談内容を発表し、高田正義心身科学部准教授の総括講評で全行程を終了した。

研修に参加した各クラブ学生責任者には、今後の活動に於いて、学生生活における課外活動の意義・目的を認識し、人間的成長・社会意識の向上へと繋げ、研修の成果を存分に発揮してくれることを期待したい。

平成21年度・臨床心理士試験 29名合格で中部地区・第1位!

文部科学省認可の財団法人・日本臨床心理士資格認定協会が実施した平成21年度・臨床心理士資格審査の結果、本学は29名という多数の合格者を出した。

この試験は第一次試験(「マシクシート」と「小論文」)が10月31日(土)に東京ビッグサイトで開催され、2531名が受験し、その内本学からは38名が受験した。また第二次試験(「面接」)が11月28日(土)から11月30日(月)まで3日間にわたり東京フォーラムで実施され、1727名(残留率68.2%)が受験し、その内本学からは30名

心身科学部健康栄養学科 小学生向けにおやつ教室開催

2月13日(土)日進キャンパスにて、「みんなで学ぼう健康おやつ」と題し、本学心身科学部健康栄養学科と日進市との共催で行われ、日進市の小学生13人が参加した。

初めに講義があり、「市販されているお菓子は油や砂糖、塩の取りすぎに注意。どうしても食べたいときは量を減らして」と、酒井映子心身科学部教授が参加した小学生に呼びかけた。

その後、3月の桃の節句にちなんで三色のひし餅風蒸しケーキに挑戦。米粉やニンジン、抹茶で色付けし、中華せいろで蒸して完成させた。

参加した小学生も「三色になるように重ねるのが難しかったけど、ふわふわでおいしかった。」と大変満足していた。



就職活動

出陣式

1月28日(木)、日進キャンパス百周年記念講堂で、就職活動中の3年生を対象に出陣式が行われ、意欲ある学生が参加した。

式は9時より吹奏楽部の校歌演奏に始まり、小見山隆行キャリア委員長の挨拶、続いて就職課職員から同日学内で実施される企業面接会・企業セミナー、キャリアセンターの有効な利用の方法などの説明の後、チャリディング部の実演などのセレモニーが行なわれ、式に彩を加え盛大に行なわれた。式の終了時にはこれからの厳しい就職活動を共に乗り越えようと、教職員・参加学生一丸となって拳を上げ



式は9時より吹奏楽部の校歌演奏に始まり、小見山隆行キャリア委員長の挨拶、続いて就職課職員から同日学内で実施される企業面接会・企業セミナー、キャリアセンターの有効な利用の方法などの説明の後、チャリディング部の実演などのセレモニーが行なわれ、式に彩を加え盛大に行なわれた。式の終了時にはこれからの厳しい就職活動を共に乗り越えようと、教職員・参加学生一丸となって拳を上げ

心身科学部健康科学科第3回卒業論文発表会が開催

心身科学部健康科学科第3回卒業論文発表会が平成22年1月18日、学院会館にて開催された。当日は佐藤祐造心身科学部長の挨拶の後、各ゼミから選出された代表が卒業論文を発表し、参加した140余名の学生・教員による熱心な質疑応答が行われた。最後に、村松喬教授が講評を述べ閉会し、その後懇親会が行われた。

各ゼミの代表者と論題は下記のとおり。

① 「歯科医療における院内感染予防」	古川 絵理華
② 「学生の血液型と性格」	水谷 充志
③ 「サラリーマンの運動習慣に関する実態調査」	青木 和哉
④ 「運動時におけるX脚の改善が跳躍動作に及ぼす影響」	向 織江
⑤ 「対人ストレスと親密性の関連性」	増井 真利子
⑥ 「家族内コミュニケーションと幸福感」	久野 晴香
⑦ 「保護者と子供のスポーツ実践に対する行動、意識調査」	森本 恵都子
⑧ 「アメリカの肥満社会を歴史的観点から探る」	宮原 洸



平成22年度春季公開講座 総合テーマ「生物多様性と環境」

開講日	講師	テーマ
① 5月22日(土)	薬学部教授 河村 好章	生物多様性とは? —生物を恒久的な遺伝資源と捉える—
② 5月29日(土)	総合政策学部准教授 村田 尚生	生物多様性からみた里山システム —里山における人間の役割—
③ 6月5日(土)	教養部教授 清 忠師	温暖化と私達の未来
④ 6月12日(土)	心身科学部講師 上野 有紀	こわい?こわくない?遺伝子組換え食品
⑤ 6月19日(土)	歯学部講師 高田 靖司	都会の中の自然 —野生生物との共生をめざす—
⑥ 6月26日(土)	教養部准教授 山名 賢治	電池技術と環境・エネルギー問題

お申込み・お問合せ

募集人員	350名	※お申込み多数の場合は先着順ではなく抽選とさせていただきます。予めご了承下さい。
受講資格	年齢性別不問	
受講料	3,000円(資料代として)	
申込受付期間	平成22年4月2日(金)~4月13日(火) 必着	
申込方法	必要項目(氏名・住所・電話番号・FAX・年齢等)を記入した申込用紙または任意の用紙を郵送するか、FAX・メールにて公開講座係まで送信してください	
お申込み	〒470-0195 愛知県日進市若崎町阿良池12	
お問合せ	愛知学院大学「公開講座」係 E-mail: koukai-k@dpc.agu.ac.jp	TEL: 0561-73-1111(代) FAX: 0561-73-9222

平成22年度春学期分 学納金の納付について

振込用紙発送日: 4月1日

学納金納付期限: 4月1日~4月30日

学納金は、発送します専用の「振込用紙」を使って、金融機関の窓口で振込手続きしていただくようお願いいたします。

用紙記載銀行の支店窓口からの振込みは、手数料が無料となります。

本学よりあらためて領収書は発行いたしませんので、振込手続きの際の「振込金受取書」は大切に保管してください。

(注意)
三菱東京UFJ銀行のATMとネットバンキングからの振込みはできませんのでご了承ください。

〈問い合わせ先〉事務局経理課

会場 けやきテラス(新5号館)



■注意事項

※上記の日程で受診できない方は、外部の医療機関で健診を受け、保健センターに提出して下さい。

(用紙は保健センターにあります。外部での検査費用は自己負担をお願いします。)

また平成22年3月以降に外部の医療機関で健診を受けた方は、その診断書の写しを提出して下さい。

〈この件に関するお問い合わせ先〉
愛知学院大学 保健センター

平成22年度の定期健康診断を下記の通り実施いたします。
期間内のいずれかの日時に必ず受診して下さい。
受診当日は、学生証・筆記用具・眼鏡(眼鏡使用者のみ)を持参して下さい。

■日時

学部	4年生
大学院	修士2年生・博士3年生
法科大学院	3年生
平成22年4月1日(木)~4月3日(土) 午前9時30分から午後4時30分まで	
学部	1・2・3年生
大学院	修士1年生・博士1・2年生
法科大学院	1・2年生
平成22年5月17日(月)~5月22日(土) 午前9時30分から午後4時まで	

平成22年度健康診断(日進学舎)

AEDを使うのは難しいと感じており、ほとんどの方が講習会に参加した良かったと答えていました。また、95%の方は救急蘇生の練習は大体できていたと回答し、半数以上の方が今後いざという時に応急手当を実施できるだろうと答えていました。

大勢の学生を預かる大学教職員にとって、基本的な救急蘇生法を身につけることは必須とされています。今回の経験を生かして、万が一の時に臆することなく救急処置に当たってほしいと思います。

保健センター 所長 大澤 功



当日実施しましたアンケートでは、参加者の80%以上の方が講習会を受講しなければならなかったと回答した。2日間にわたって90分間の講習会を4回開催しましたが、合計154人の教職員に参加していただきました。

救急蘇生法(AED)講習会を開催

日進キャンパスでは、平成18年にAED(自動体外式除細動器: automated external defibrillator)が設置されました。AEDは単に設置するだけでなく、実際に使用できる人を確保しなければなりません。そのためには、できるだけ多くの人が講習会に参加して正しい使用方法を習得すると同時に、いざという時に迅速かつ適切に使用できるように再教育を繰り返す必要があります。

そこで保健センターでは、平成22年1月12日(火)と13日(水)に、教職員を対象として救急蘇生法(AED)講習会を開催しました。講習会では、日本救急蘇生普及協会からお招きした講師による講義の後、救急蘇生法の指導資

就職体験記

「就職活動を振り返って」

私は銀行から内定をいただきました。しかし、就職活動を始めた当初は自動車販売の職に就きたいと考えていたため、最初から金融業界を第一に志望していたわけではありませんでした。就職活動を進めるにつれ自分の視野の狭さに不安を感じていました。そんな時友人の誘いで銀行へOB訪問をすることになりました。そこで出会ったOBの人柄や、今まで見ることでできなかった世界を知ることができ、金融業界に切り替えたきっかけになりました。

業界が全く異なるため、今までの履歴書やエントリーシートをすべて書き換え始めました。切り替えをしたのが12月の終わりで企業説明会や、早いところではエントリーシート提出など期日が迫っている企業が多数あり、かなり焦りを感じていました。

それからは、大学のキャリアセンターを利用し職員の方々にサポートしていただきました。会社説明会の合間や帰りの時間を利用して栄サテライトセンターへも足を運びました。

活動中は辛くて仕方ない時もあり、ため込んでいた時もありましたが、両親や友人、職員の方々、などたくさんの方が支えもあり内定を頂くことができました。

SPIなどの勉強をすることは当たり前ですが、自ら動くこと、たくさんの方との出会いを大切にすることで結果につながると思います。



商学部
磯貝美奈

楽しむのは自分次第！

夏ごろから、就職について何となく考えていました。しかし、就きたい職業が決まりませんでした。やりたい事が見つからないというよりも、「あれもいいし、これもいい」。どんな仕事か自分に合うのか分かりませんでした。

私がエントリーを始めたのは、決して早くはありません。周りが就活の話をしだして、やっと動き出しました。2月は、たくさん説明会に参加しました。さまざまな会社を知れるのは就活期間しかないし、自己分析で新たな自分に気づくのも大切だと思います。説明会は旅行会社、ホテル、金融、自動車、アパレル、建築、機械……業種を問わず参加しました。興味の有無も関係なく、いろいろ聞きました！すると、良いと思っていた仕事に全く興味が湧かなかったり、自分でも意外な会社に興味を持ちました。自然に「あれも、これも」の数が減り、整理されていきました。結局、メーカーの営業がやりたいと思いが固まりました。就職活動は、業種がバラバラのまま、説明会で惹かれた企業だけ受けました。面接は、楽しんでやれました。私は、自慢できるような資格は持っていません。しかし、今までの経験や現在頑張っていることをアピールできれば、興味をもってもらえると感じました。

私は4月に内定をいただいて就活を終えました。部活もアルバイトも続けていたので時間がなく、1日に説明会が3つという日もありました。体力的につらい日もありましたが、就活一色の生活にできなかった事と、就職活動の中に楽しさを見つけたおかげで、モチベーションが下がることはありませんでした。就職活動は知らない事だらけの世界です。それを不安に思うか、新しい出会いと捉えて楽しめるかは自分次第だと思います。楽しく過ごして、自分に合う会社を見つけてください！



文学部
広瀬 希

「成せばなる!!」

「成せばなる」この言葉は私の夢であった「消防官」になるための勉強期間中の合言葉だった。「夢は夢」と多くの人が言うが私はそうは思わない。どんな困難、逆境になっても諦めず続けることが出来れば夢は逃げないと信じている。しかし、今までサッカーしかしてこなかった私にとって勉強で他者と戦うことは大きな不安だった。この不安に追い討ちをかけるように模試では常にE判定で、さらに全国最下位という屈辱的な順位を記録した。

笑うしかなかった反面、ピンチはチャンス！「やるしかない」と自分の心を今まで以上に突き動かすきっかけとなった。この屈辱のおかげで私はパワーアップしたと思う。24時間は皆平等、限られた時間で何が出来るか、どうすれば自分らしくできるか。その結果が、全力でその一瞬を熱く生きることだ。消防官になる過程に「今」がある。だから、部活や東海大学サッカー連盟の仕事をこなしながら時間を見つけて勉強をするスタイルが過酷だが私にとって一番合っていたと思った。そこからは毎日が楽しかった。

夏になりみんなが内定をもらっていくなか私は相変わらず不合格の連続だった。けれど、ネバーギブアップ精神で闘い続けたのは「断固たる決意」と、そばで支えてくれた人、共に戦った仲間、キャリアセンターの方々、家族の応援があったからこそだと私は思う。人より長く苦しみと闘いぬいたからこそ、11月の中旬に地元滋賀県の「彦根市消防」の内定をいただいた時の喜びを忘れることはない。全ての人に感謝！！

ここからが新たな始まり。人生は失敗があるから成功があり、辛さがあるから喜びがある。成せないことはない。自分が目指す消防官像にこれかも熱く挑戦し続けたい。成せばなる。そのなかで、「Look at it this way」自分のスタイルを守ることが目指すべき所への道しるべになると私は思う。

人生諦めたらそこで終わり。大事なものは勇気より覚悟。Get your dream！



法学部
左近上 卓

「自分の夢を明確に」

私は10月頃から就職活動を始めました。始める前から「行動力」が大事だと思っていた私はいろんなセミナーや説明会に足を運びました。そのおかげで就職活動のモチベーションは高く保つことができていたと思います。2月頃からは履歴書やエントリーシートの提出が本格的に始まりました。自分が納得する文章を書き上げるために苦労した時期でもあります。キャリアセンターの人達に添削をしてもらい、何度も何度も書き直しました。私はこの時に書き直せば書き直すほど文章はどんどんブラッシュアップしていくのだと感じました。大きな壁にもぶつかりました。それは書類選考のあとの面接です。私は肝心の面接でことごとく落とされました。その理由として志望動機の甘さでした。どうしてこの会社なのか、ここで何をしたいのかがとても曖昧だということに気づかされました。今振り返ってみても内定を勝ち取るためには面接の志望動機が一番大事な部分だと思います。私は、ここで何をしたいのかを明確にし、インパクトある志望動機を作ったことによって志望企業から内定を勝ち取ることができました。幾多の壁にぶつかりはしましたが、自分の夢を明確にして諦めず突き進めたことが良い結果になったのだと思います。辛抱強く頑張ってください。



経営学部
杉浦佑介

「叶えたい夢がある」

私は、近畿日本ツーリストに内定をいただきました。私は、旅行会社に入りたいという思いが強く、就職活動中は旅行会社だけに絞りました。旅行会社は、人気ということもあり、入りたいという思いだけではなかなか通れません。他の人と差をつけるためにも大切なことは、「自分の将来に強いこだわりを持つこと」だと思います。就職活動では、まずは自分の将来をきちんと描いてほしいし、それを達成できる環境のある仕事についてもらいたいと思っています。そのほうが入社後も夢を持ち、自分を見失わずに仕事に取り組んでいけると私は思います。私は入社後、健康に関するツアーなどを企画し、健康への「気づき」や「動機付けの場」を広げ、健康な生活へのライフスタイルの転換をつくるきっかけとなる旅を提案したいという夢があります。また、どうしたらお客様に喜んでもらえるのかを、常に考え「お客様の想定内の要望は必ず実現+お客様の想定外のサプライズ=120%の旅」が提供できるように、先をみすえた行動力で1人でも多くの人を喜ばせたいと考えています。就職活動中は自分を見つめなおし、たくさんの人に出会って、多くの情報を入手しながらできる絶好のチャンスです。人それぞれ価値観は違うと思います。自分に合った会社を探るためにも、就職活動中はいろんな人と接して、自分の奥深くにある価値観を見つけてみてください。最後まで諦めず「情熱」を持ち、何事も恐れず、前向きに自分を信じて頑張れば結果は必ずついてきます。

あなたが叶えたい夢はなんですか？すばらしい未来が待っていることを願っています。



心身科学部
森本恵都子

「一歩前へ踏み出して」

私は就活を、MRになるという決意で始めました。製薬会社だけにエントリーし、進めていきました。ESは順調に通るものの、最終面接には中々辿り着けずじまいでした。そんな自分自身に大きく失望もしましたし、期待してくれていた両親に申し訳なく思っていました。本当に苦しい時期でした。しかし、自分には17年間のサッカー人生で得た自信や仲間という大きな財産があり、乗り越えることができました。その結果、製薬会社1社から内定を頂き、納得して就活を終えました。これからは「苦しい時こそ、前に進む時」と、一歩ずつ進んで行きたいです。私は、就活を終えて感じたことが2つあります。1つは出会いです。就活を通じて様々な人や、今まで知らなかった新しい自分に出会えます。それらの出会いは自分を色づけて、色あせないものにしてくれるはずですよ。もう1つは、何事にも「継続する力」だと思います。4年間で言えば、サッカーや勉強、就活等、どんな事でも、何があっても諦めずに全力でやってきて本当に良かったと思いました。このような素晴らしい環境に自分を置いてくれた両親、兄を始め、部活の監督やチームメイト、友人、様々な人達に感謝しています。



総合政策学部
山本 航

平成21年度卒業生の主な業種別就職・内定先一覧

(平成22年3月2日現在)

【総合工事業】

貝沼建設(株)
(株)熊谷組
セキスイハイム中部(株)
積水ハウス(株)
大天工業(株)
パナホーム(株)
東日本ハウス(株)
プラザー不動産(株)
名工建設(株)
八木木材産業(株)
(株)レオパレス21

【設備工事業】

(株)トーエネック
三宝電機(株)
(株)テクノ愛和
日本電話施設(株)

【食料品製造業】

金印(株)
桂新堂(株)
豊島製パン(株)
寿がきや食品(株)
スギ製菓(株)
日本食研(株)
(株)浜乙女
フジパンググループ本社(株)
プライムデリカ(株)
(株)マルアイ
丸信製菓(株)
(株)美ノ久
山崎製パン(株)

【飲料・たばこ・飼料製造業】

サントリー(株)

(株)チュリオ中部

【衣服・その他の繊維製品製造業】

(株)クロスカンパニー

(株)ワコール

【木材・木製品製造業(家具を除く)】

大日本木材防衛(株)

【家具・装備品製造業】

サンウエーブ工業(株)

【パルプ・紙・紙加工品製造業】

(株)キングコーポレーション

【印刷・同関連業】

(株)大鹿印刷所

新日本印刷(株)

竹田印刷(株)

中日本印刷(株)

【化学工業】

(株)アジバンコスメジャパン

栄研化学(株)

大日本住友製薬(株)

丸和電子化学(株)

【プラスチック製品製造業(別掲を除く)】

MICS化学(株)

福助工業(株)

リスのプラスチックグループ

【窯業・土石製品製造業】

日本コンクリート(株)

【鉄鋼業】

新日本製鉄(株)

名古屋日管製造(株)

【金属製品製造業】

愛知金属工業(株)

金星工業(株)

リンナイ(株)

【一般機械器具製造業】

SMC(株)

(株)川本製作所

大和冷蔵工業(株)

(株)内藤商会

【電気機械器具製造業】

(株)中央製作所

(株)明和テック

【電子部品・デバイス製造業】

(株)デンソー

マスプロ電工(株)

【輸送用機械器具製造業】

エンケイ(株)

(株)畔柳工業

小島プレス工業(株)

神屋工機(株)

真和工業(株)

トヨタ紡織(株)

フタバ産業(株)

(株)メイドー

ユタカ工業(株)

【精密機械器具製造業】

興和グループ

(興和kk・興和紡績kk・興和新薬kk)

(株)ニテック

(株)八光

【その他の製造業】

田島ルーフィング(株)

【ガス業】

日本海ガス(株)

【情報サービス業】

(株)富士通中部システムズ

(株)サービスウェア・コーポレーション

(株)シーイーシー

(株)システムリサーチ

(株)中電シーティーアイ

(株)日本システムディベロップメント

日本電子計算(株)

(株)フューチャーイン

(株)ブロードリーフ

(株)プロトコーポレーション

(株)ユーフィット

【映像・音声・文字情報制作業】

新日本法規出版(株)

【鉄道業】

(株)東海交通事業

東海旅客鉄道(株)

名古屋鉄道(株)

【道路旅客運送業】

三重交通(株)

愛知陸運(株)

佐川急便(株)

山九(株)

西濃運輸(株)

飛騨運輸(株)

福山通運(株)

(株)ホンダロジスティクス

名越運輸(株)

名阪急配(株)

ヤマト運輸(株)

【運輸に附帯するサービス業】

(株)上組

五洋海運(株)

丸徳産業(株)

郵便事業(株)

【繊維・衣服等卸売業】

(株)三陽商会

龍定名古屋(株)

丹羽幸(株)

ヒロタ(株)

【飲食料品卸売業】

石川(株)

(株)イズミック

(株)昭和

高瀬物産(株)

東海ベジコーラ販売(株)

(株)長登屋

中日本フード(株)

(株)西原商会

日本ハム東部直販(株)

(株)マルイチ産商

【建築材料・鉱物・金属材料等卸売業】

(株)愛洋産業

朝日金属(株)

岩谷産業(株)

中部ホームサービス(株)

天龍木材(株)

TOTO中部販売(株)

(株)ニップコーポレーション

初越商事(株)

九条コンクリート工業(株)

(株)メーカケブ

渡辺パイプ(株)

【機械器具卸売業】

イスコジャパン(株)

(株)コーエイ

杉本商事(株)

(株)ダンロップファルケン中部

(株)中部屋電機

トヨタL&F中部(株)

日産部品東海販売(株)

パナソニックシステムマーケティング(株)

富士ゼロックス愛知(株)

明治電機工業(株)

ラディックス(株)

理科研(株)

リコー中部(株)

【その他の卸売業】

(株)アイトー

アシックス中部販売(株)

(株)アステイス

アルフレッサ(株)

(株)オーグロンマーケティング

花王システムマーケティング(株)

(株)吉良紙工

ジップ・ホールディングスグループ

ジャベル(株)

シンコール(株)

(株)スズケン

(株)植屋

東邦薬品(株)

中北薬品(株)

ビップフジモト(株)

明祥(株)

【各種商品小売業】

(株)名鉄百貨店

ユニー(株)

(株)義経屋

【織物・衣服・身の回り品小売業】

(株)あかのれん

(株)イング

(株)キャンビン

京都きもの友禅(株)

(株)ジーファット

(株)フォー・ユー

藤久(株)

(株)ブランドオブ

【飲食料品小売業】

(株)カネスエ

(株)アオキスーパー

(株)サークルKサンクス

(株)ジャパニビレッジ

スーパーサンシ(株)

(株)パロー

(株)フィールコーポレーション

(株)ベシア

マックスバリュ中部(株)

マックスバリュ東海(株)

(株)ヤマナカ

【自動車・自転車小売業】

愛知トヨタ自動車(株)

(株)レッドバロン

【家具・じゅう器・機械器具小売業】

(株)エイデン

(株)エフティコミュニケーションズ

(株)エンチャー

(株)カーマ

(株)カインズ

(株)ギガス

(株)クロップス

(株)ケーヨー

(株)コジマ

上新電機(株)

(株)ベシア電器

(株)ヤマダ電機

【その他の小売業】

(株)キャンドウ

(株)杏林堂薬局

ゲンキー(株)

(株)サンドラッグ

(株)スキ薬局

(株)ドン・キホーテ

(株)ナフコ

(株)プロジェクトファイブ

(株)三城

(株)メガネブ

【銀行業】

(株)三井住友銀行

(株)りそな銀行

(株)大垣共立銀行

(株)八十二銀行

(株)十六銀行

(株)愛知銀行

(株)第三銀行

(株)中京銀行

(株)徳島銀行

(株)名古屋銀行

【協同組織金融業】

愛知県信用農業協同組合連合会

愛知県中央信用組合

愛知信用金庫

静岡信用金庫

就職体験記

「就職活動を振り返って」



短期大学部
歯科衛生学科
富永彩加

私が就職活動を始めたのは、3年生の秋です。それまでの私は社会人になるという自覚も足りなく、卒業したら歯科衛生士として歯科医院に勤めるのだと、ただ漠然と思っていました。しかし、学校での就職活動ガイダンスで、「働く理由とは、幸せになるため。愛され、必要とされ、役に立ち、誉められるためだ。」というお話を聞き、社会人になるということをはんやり考えていた私の胸に強く響きました。そして、今しっかり自分と向き合い、心から働きたいと思える職場を探さなければ必ず後悔をし、自分自身の向上につながらないと感じたのです。そこで、私が就職先を決める上で重視していたことは、いかに自分がその医院に溶け込めるかどうかです。もちろん医院の方針や仕事内容も重視しますが、やはり開業医院は小さな組織なので人間関係がとても大切だと思います。

就職活動は大変かもしれませんが、いろんな職場を見学できる絶好のチャンスであり、いわば就職活動生の特権です。自ら動き、多くのことを吸収する姿勢を忘れず、友人と意見や情報を交換し合うことが大切だと思います。

【保健衛生】

日本ステリ(株)

【学校教育】

(学)愛知学院

(学)藤田学園

【その他の教育・学習支援業】

(株)アクトス

(株)さなる

(株)ジー・コミュニケーション

(有)CBC自動車学校

(株)東輝

リーフラス(株)

【郵便局(別掲を除く)】

郵便局(株)

【協同組合(他に分類されないもの)】

あいち海部農業協同組合

あいち中央農業協同組合

あいち豊田農業協同組合

愛知西尾農業協同組合

あいち尾東農業協同組合

海部東農業協同組合

一志東農業協同組合

大井川農業協同組合

香川県農業協同組合

蒲郡市農業協同組合

ぎふ農業協同組合

黒部農業協同組合

桑名農業協同組合

信州諏訪農業組合

陶都信用農業協同組合

とびあ浜松農業協同組合

なごや農業協同組合

西春日井農業協同組合

西三河農業協同組合

飛騨農業協同組合

ひまわり農業協同組合

三重県農業協同組合連合会

めぐみの農業協同組合

【不動産賃貸業・管理業】

大和リビング(株)

【宿泊業】

全国地区対抗大学ラグビー大会
本学ラグビー部

逆転で8年ぶり全国優勝

1月6日(水)、瑞穂ラグビー場で全国地区対抗大学ラグビー大会決勝戦が行われ、

主将の中前君も「前半をトワイ一本で抑えられたのが原因。後半は風上からのプレーで焦ることなく練習通りの思い切ったプレーができた。」

試合は決勝戦にあさわしく追いつ追われたの接戦で、本学は後半4トライ、4ゴールと28点を奪う猛攻で逆転。「試合当日は風も強く、前半は風下の不利な状況の中、相手の新潟大はFWが強く、キックも多い。いかに得点を少なくと胸を張った。」

後日、杉下守男部長、高田監督、小沢コーチ、中瀬主将らが学長に全国優勝の報告に訪れ、全国優勝に至るまでの試合展開や今後の目標などの抱負などを伝え、終始和やかな優勝報告となった。

今後のラグビー部のさらなる活躍に期待したい。



全日本学生ジムカーナ選手権
自動車部 女子団体 準優勝

昨年開催された全日本ジュニア選手権において、本学自動車部が女子団体で2位に入る好成績を取めた。また、男子も団体11位と善戦した。

が難しいので、気兼ねなく女子にも入部してほしい。」と女子の入部も熱望している。今後のさらなる自動車部の活躍に期待したい。

が難しいので、気兼ねなく女子にも入部してほしい。」と女子の入部も熱望している。

今後のさらなる自動車部の活躍に期待したい。



その他、主な昨年の成績

全中部学生ジムカーナ選手権大会
男子団体 準優勝
女子団体 優勝
全中部学生ジムカーナ新人戦
男子団体 準優勝

ラグビー部
伊藤晋吾 君
ヤマハ発動機
ジュビロに
入団内定

心身科学部健康科学科4年
伊藤晋吾君がウグビー実業団
でトップリーグのヤマハに入
ることが内定。

伊藤君は、愛知（栄徳高校）を卒業。本学ラグビー部ではWTBで活躍。172センチ82キロ。

今回の全国地区対抗大学ラグビー大会での歓喜の優勝にも、「相手のタックルが強かった。トライを果たせなかったのは悔いも残る。」と反省を忘れなかった。

今後の伊藤君の活躍に期待したい。

大塚真弓さん
ユニバーシアード
スペイン大会出場へ

心身科学部健康科学科4年
大塚喜弓さん(愛知・岡崎西)
が今年5月末に行われる世界
大学トライアスロン(ユニバ
ーシアード)スペイン大会に
出場し世界に挑む。

大塚さんは2008年のユ

ニバーシアードトルコ大会で日本人トップながら28位と、本人にとっては不本意な成績だった。昨年の8月に行われた日本学生トライアスロン選手権で初制覇し、今回のスペイン大会に向けて調整中。

4月からは新社会人となり
競技と仕事と、一足のわらじ”
となるが、日中は仕事。早朝
と夕方以降の練習で体を鍛え
ることになる。

大塚さんのユニバーシアードでの活躍を期待したい。

交換留学体験記

文学部国文学文化学科3年 伊藤由衣

うれしい気持ちがあふれました。不安もあまりなくさまざまなことを期待して日本を立ちました。しかし初日にステイ先に着いた時は家に誰もいない状態。何時間か一人で過ごすという事態になりましたが、そこで何が出来るのか考え、学校やホームステイの会社に電話し状況を説明してアドバイスをもらうなど助けてもらったのが最初の知らない土地での英語の試験となることが私のやる気と期待をさらに活気づけたきっかけとなりました。

学校では様々な国の生徒と

出会い他の国の生活や文化の話を聞いたりして自分の視野を広めることができました。授業においては私のクラスはほとんどがスピーキングの内容となったりましたが日本の学校で習ったことを拡張して単語や文法もやりそれを使えるようにするという満足のものでした。徐々にクラス内で発言が増えていき最後にはうるさい位の生徒となれたことにはうれしく思っています。向こうで出来た友達とは私にとつての一番の思い出となっていて今でも連絡はとりあっています。

週末は毎週のように海や山と自然の溢れる所に足をのびました。中でも世界遺産のひとつであるフレーザー島には感銘を受けました。また他の州にも旅行で行ったりもして、行った先々での現地の人たちとの一期一会も欠かせない思い出となっています。バス停や道で自ら声をかけ会話

ホストファミリーとでもかけ

ることもあり次第に家族の一員ともなっていたと思っ
ています。特にホストマザー
はお互いに深い話まで出来る
仲になりました。



オーストラリアは日本以上に家族愛を大切にしていることを改めて感じたこともあり、帰ってきてからは家族の受け止め方が変わったと思います。ホスト先にいたころ忙しい中

ストマザーを訪けたいといふことから家族愛を改めて教えてもらった気がしました。英語の面は恥じらいやためらいなく話せるようになった事や旅行するのに自分でオーガナイズできる力ができました。英語の面だけでなく自分の人間の面での成長もできるようなと目標だて留学に出発しました。今後の人生の過程の中でこの留学の成果が表れていくことを期待する共に今後も語学の面に関して努力していきたいと思っています。

このような機会を与えてくれた大学のみなさんと応援してくれた友達や家族にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

ポンド大学
交換留学体験記

森香澤代

今回私は交換留学生としてストラリアのゴールドコースト

これまでも3カ月半のような期

最初の5週間は、一般英語

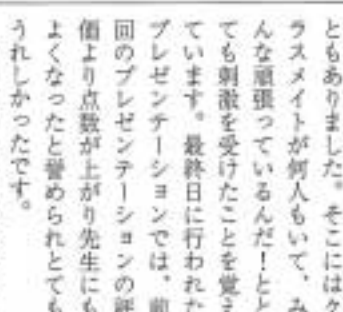
コースで日常的に使われる単語を中心に学びました。授業が始まった当初はクラスについていけるかとても不安でした。しかし授業のやり方によって、だんだんと楽しくなってきました。毎週水曜日はプレゼンテーションの日、金曜日はテストの日でした。最初は、すごく緊張したプレゼンテーションも回数を重ね徐々に慣れていきました。授業後にはカンパシーショーでクラスに参加したり図書館で宿題をしたりしました。週末は友達と買い物に行ったり、バーベキューをしたり楽しく

過しました。またホストファミリーやその親戚や友達、留学生などたくさん的人数で集まり夕食を食べたりしました。ホームパーティーで知りました。合うことも多く、そこで仲良くなった留学生もいます。

6週目からビジネス英語コースに移り、残りの期間はそこで勉強しました。今までとは違い、見慣れない単語に、求められるビジネスの知識、慣れるまでは毎日とても疲れていました。クラスには、母国の大学でビジネスを学んでいた生徒や、すでに社会人として働いた経験のある人もいました。私のようにこれから勉強を始める生徒も何人かいて、そんな彼らと一緒に単語を覚えたり、授業の復習をしたりしました。授業では9週間中4週間は、毎朝、自分が読んだビジネス記事についての発表がありました。初めは記事を読んで、まとめるのですごく時間がかかり負担も

うには、その準備にも慣れ、

またみんなの病室から知見を深めることもできました。毎日、ディベートやブレゼンなどで忙しく過ぎて行きました。授業の準備のために週末



今回の留学から学んだことは決して語学だけではなく

たと思います。世界から集まった留学生と過ごす日々は、毎日が発見であり刺激的でした。たくさんの人たちと英語を通してコミュニケーションを取れたことを本当にうれしく思います。

この3カ月半はとても、たくさん学び、笑い悩み成長した素晴らしい3カ月半になりました。この留学が決まってから帰国するまでにたくさんの人と出会い、支えられ助けでもらい本当に感謝しています。これからもこの経験を生かして勉強していきたいと思っています。ありがとうございます。

